

2025年度 第3回 藤沢市立鵠洋小学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2025年10月15日（水）10時～12時

場 所 鵠洋小学校 会議室

出席委員	河村 満 会長／鵠沼ふれあいトライアングル 代表 亀本 淳夫 副会長／鵠洋小学校 校長 徳永 理加 鵠沼南地区民生委員児童委員協議会 主任児童委員 寺田 言子 鵠沼地区青少年育成協議会 坂田 千鶴代 鵠沼南地区民生委員児童委員協議会 副会長 吉田 正彦 学識経験者（元鵠洋小学校校長） 浪川 征子 どろんこ児童クラブ 代表 庄司 薫 KFP（鵠沼ファザースパトロール）代表 齋藤 香乃 鵠洋小学校PTA 代表 奥濱 佳那 鵠洋小学校学校運営協議会 コーディネーター 後藤 洋平 鵠洋小学校学校運営協議会 コーディネーター 出席委員：11名 欠席委員：4名（山口秀俊、野村田鶴子、植松梢、駒場亜以） 事務局：亀本淳夫（鵠洋小学校校長） 傍聴人数：2名（教育委員会総務課 増田、澤野）
次第	1 開会 2 議題 (1)今後の学校支援について (2)防災教育への取り組みについて (3)学校の近況と現状の課題 (4)その他 3 その他 4 閉会
協議内容	1 開会 夏休み以降の学校の様子の説明 大きなケガ、事故等の報告なかった 炎天下でのグラウンド利用（クラブチームも含め）において、子どもたちの熱中症への対応は大丈夫なのかといった近隣から心配の声があった 7月30日津波警報の際、避難所としての対応が大変だった 9月30日、10月1日の修学旅行は、曇り・雨でハイキングは中止

しかしそのせいか東照宮、奥日光は空いていた
八部公園までの行きかえりでの KFP の見守りは非常に助かった

2 議題

(1) 今後の学校支援について

- 亀本副会長 *運動会実施予定 (10/25)
 →今年度は保護者席の一部変更、本部テントを2張りから1張りにしている、身分証カード忘れずに持参してほしい
- *6年生地層見学 (11/4、5)
 →朝の見守り KFP と民生委員が帯同予定
- *予告なし避難訓練 (予備日 11/11)
 →お手伝いいただける方を後で確認
- *1年生江の島水族館 5年生江の島探索 (11/7)
 →KFP 見守り予定 帯同は予定なし
- *2年生ズーラシア遠足 (11/10)
 →KFP 見守り、八部は休館日だがバス発着のため特別に駐車場は開けてくださるとのこと、2年生には車での迎えは控えるようアナウンス予定
- *4年生宮ヶ瀬ダム遠足 (11/12)
 →KFP 八部までの見守り予定、民生委員帯同予定
- *6年生1クラス市内音楽会 (11/13)
 →市民会館までの見守りを KFP にお願いしたい
- *1年生長久保公園散策 (11/18)
 →KFP 見守り、民生委員帯同予定
- *ベルマークの日 (11/27)
 →時間があれば、手伝いに来てほしい
- *4年生プラネタリウム (12/3、9)
 →本鵜沼駅までの見守りを KFP にお願いしたい
- *3年の市内巡り (12/12)
 →KFP 見守り、民生委員帯同予定
- *6年生東京見学 (12/19)
 →市民会館までの見守りを KFP にお願いしたい
- 2学期後半に行事が詰まっているため、KFP、民生委員の力を可能な範囲でお借しいただきたい

(2) 防災教育への取り組みについて

- 亀本副会長 防災については、4年の社会科で取り組んでおり、先日も4年生の学級で1時間授業をした
 内容は自助・共助の話し
 防災館等で一度、震度7を経験してみると良いよと話したところ、

その学級の担任をはじめ、児童数名が連休の折に防災館を訪れ、体験してきたとのこと

子どもたちは「とても良い経験になった、皆に勧めたい」と言っていたので、話をした甲斐があったと思っている

11月6日は予告なし避難訓練予定しているが、2階の渡り廊下が衝撃で落ちてしまう設定で実施予定

普段の避難経路ではない経路で逃げないと校庭に出れない設定で行う

10時半に地震発生予定なので、少し早めに来て事前準備のお手伝いをしていただきたい

10時から12時までを予定している

(3)学校の現状と課題

*教員数の問題

亀本副会長 欠員による学校運営の大変さ、現在、ことばの教室や音楽専科に欠員が出ている

音楽は10月下旬、ことばの教室は11月中旬より非常勤講師が任用されることになった

ことばの教室については、専門的な知識も必要なことから、誰でもできるというものではない

ことばの教室は藤沢市の小学校35校中4校にしか開級されていないため、近隣の学校の生徒も来ている

本校では、60人近くの生徒を3人の教員で指導している

庄司委員 大規模学校になるほど現場の負担が重くなっていく。それではなかなかマネジメント体制はまわらないのではないかと

奥濱委員 環境整備についても負荷がかかっているのではないかと

例えば学校用務員の負担

学校の大小にかかわらず、同じ人員での対応することは負荷が大きいのではないかと

ボランティア頼りになってしまわないかと

吉田委員 教頭先生2人体制で運営することかできないかと以前、県に尋ねたことがあるが配置規則があり、教員の総数を変えなければ検討余地あるがとの回答であった

しかし、それだと増員とはならないため、意味がないと感じた

*PTAの業務改善改革に絡んだ問題

亀本副会長 PTAに関し、業務改善に取り組んでいるが、必ずしも不要な業務ばかりではないため、その峻別に苦心している

どれも意義があるので簡単にはやめられない状況もある

同時にPTAに加入者も減っている状況もあるので、その点のバ

庄司委員	ランスを考えて進めていく コロナを挟んで行事運営のノウハウが欠落している状況がある (例、地区レク、児童館祭り) また PTA へのオファーが直前であり、対応が追いついてない状況がある 構造的問題があるのではないか 1 年前から事前に人員、役割等を大まかに決めておいて、早めに伝えていかないとなかなか対応ができないのではないか
奥濱委員	イベント等は早めに伝えてもらえると、役割等も早めに決めることができるので助かる ※学級改善
亀本副会長	改善が求められているクラスについては、経験豊富なサポート講師に入ってもらっていただくこととなっている
(4) 津波警報発令時の学校状況	
亀本副会長	センター側と学校側の情報共有と対応の範囲が徹底されておらず現場は混乱した 360 名の近隣住民が避難して来た 当日は校長、教頭は不在 職員は状況が把握しきれない中で迅速に対応した 本来、学校が避難所になった場合、それは市の管理となり、運営は市職員が行うことが原則ではないか 今回、教職員は県の職員であるため、原則、避難所対応の必要はない しかし、学校が授業中の場合、子どもについては当然職員が守るべきである しかし、今回のような夏休みで生徒がいない状況においては、市職員が対応するべきであり、今後こういった場合の対応方法について市に求めたいところ 食事の問題においては、差し入れあったとしてもアレルギーも考慮にないといけないため、いろいろと課題は残る
浪川委員	どろんこは当時校庭にいたが、教員が誘導、指示をしてくれた子どもたちも先生の顔を見れて安心していただけたようだ。 非常に的確な判断、対応をしていただき感謝している
吉田委員	市にそういった場合の避難所マニュアルの作成を依頼しても難しいだろう なぜなら学校の現状を正しく認識してないから 生徒がいるケースといないケースそれぞれ必要だが、校長会で市に呼びかけて、避難所（学校）の鍵を誰が開けるくらいのこ

亀本副会長	とは、担当をしっかりと決めておくようにしてもらいたい 今回は津波警報 「ハザードマップを見ろ」と言われるが、あれは大津波警報、しかも最大級の津波来襲の場合のもの 心得がないと慌ててパニックになる そういった発信も市からお願いしたい
総務課澤野	例えば、ハザードマップを大津波警報のものと津波警報のものに分ける 津波警報のサイレンは、大津波警報だけにするか、もう少しトーンダウンするとか 今回のことをきっかけに、藤沢市としての対策を考えていただきたい 課題をしっかりと受けと寝て、反映できるようにしてほしい
2. その他	
浪川委員	*児童クラブについての説明 来年度4月から2つ増え5つの放課後児童クラブとなる それに伴って第2どろんこクラブは閉所となる
総務課	*子どもたちをめぐる状況とこれからの教育
さわのさん	社会で生きるために幅広い視野を持ってほしい
吉田委員	三者連携と学校運営協議会との関係性は、それぞれ具体的にどう異なるのか
総務課澤野	運営協議会のメリットとしては校長からの悩みが出やすい環境がある 運営協議会の方がSOSを伝えやすいと思っている 一方で三者連携は、鵜沼の場合非常に活発ではあるが、藤沢市全体でみると学校の困りごと対応、支援というよりも地域として子どもたちにやってあげたいことを考え行動することにウェイトをおいている なので運営協議会のメンバーに、従前通りは学校の課題について、いろいろと考えていただけたらと思う
事務局	次回は、学校の近況報告と課題への対応、また、3学期の取り組みについても、話あっていく。
以 上	